

◇12月の代祷・信施奉献先  
▽世界エイズデー（1日）  
▽野宿生活者支援のため  
（Ⅱ）▽エルサレム教区の難  
民支援活動のため▽日本聖  
書協会の働きのため▽難民・  
移住労働者のため

びかけです。以前から日本聖  
公会全体に呼びかけられてい  
ましたが、本総会にて、あら  
ためて強く確認されました。  
選挙の時期が迫っており、今  
から内規変更等は不可能かと  
思いますが、各教会におかれ  
ましては、教会委員会、教区  
会代議員選挙において、男性  
以外のメンバーがまずは30%  
以上になるよう意識していた  
べくようをお願い致します。

また、青年担当者からの報  
告では、若年層は「便利に使  
う人材」ではなく、「意思決  
定のメンバー」として捉える  
よう意識変革が呼びかけられ  
ました。青年世代は「未来を  
担う人々」ではなく、教会  
に「今、すでに不可欠なメン  
バー」です。各教会の事情に  
よって、簡単にはいかないこ  
とかと思いますが、年齢に  
ついても可能な限りグラデー  
ションのある教会委員構成、  
代議員構成となるよう、より

意識した投票行動をお願い致  
します。  
神の家族として、多様なメ  
ンバーが生かし生かされる、  
まさに神の創造世界の豊かさ  
を表す共同体とされますよ  
う、皆さまのご理解とご協力  
をお願い致します。その教会  
の姿そのものが、この世界へ  
の宣教的な姿になることを信  
じます。

◇「20230」実現に向  
けて  
2021年度教会委員選挙期間  
中につき再度掲載いたします。  
日本聖公会第65（定期）総  
会へのお祈り、ありがとうございます  
ございました。非常に重要な総  
会となりました。これから  
徐々に、関係各所よりご報告  
等なされる予定です。まずは  
急ぎ、迫っている各教会の選  
挙において「202230」とは、  
という目標を意識していた  
だきたく、お願い致しま  
す。「202230」とは、  
2022年までにあらゆる意  
思決定機関に女性を少なくと  
も30%以上選出するという呼

（宣教主事 司祭 太田信三）

▽中高生会クリスマス会のお  
知らせ（Web開催）  
今年も中高生会でクリスマ  
ス会を行います！今回はオン  
ラインでの開催！！皆さんぜ  
ひ来ててください！！  
日時：12月20日（日）19時～  
21時  
場所：Zoom  
対象：中高生世代（12～18歳）  
申し込み方法：Google フォー  
ム（QRコードよりお申込み  
ください）

▽聖職養成委員会より  
降臨節に入り、教会の暦  
は新しい年になりました。  
2020年度は新型コロナウイルス  
イルス感染症の影響により、  
残念ながら聖職養成委員会主

今週・来週の予定	
12月13日～26日	
13	(日) 降臨節第3主日
14	(月) 礼拝音楽委員会 web
16	(水) 教役者レクイエム
18	(金) 執事按手式リトリート
19	(土) 執事按手式 web
20	(日) 降臨節第4主日
25	(金) 降誕日



催の研修・黙想会を開催することができませんでした。しかし、このような時、今までと違う日常の中だからこそ、これまで以上に「教会の働きとは？」「聖職の務めとは？」と召命について思いめぐらしている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。そのような方は、形に拘わらずに是非ご自分で黙想の時を持ち、ご自身と神様との対話を深めてはいかがでしょうか。さらに、所属教会や礼拝堂の牧師、管理牧師の先生方や信徒の皆さんとの交わりや奉仕の機会を積極的に増やしてみてはいかがでしょうか。きっと聖霊のお働きで自分の「思い」に新たな気づきを与えられると思います。私たちも、一層深く祈ります。

聖職養成委員会 一同

◆とこしえの平安

12月9日 山本 寿子 (104)

三光

【訂正】

先週号「とこしえの平安」で山下千代さん(聖愛教会)のお名前が間違っていました。謹んで訂正いたします。

誤↓山本千代

正↓山下千代

【教区事務所の年末・年始休業】

12月25日(金) 降誕日

12月30日(水)～1月6日(水)

休業させていただきます。

【教区ニュース休刊】

1月3日号

休刊いたします。

降臨節から降誕節と向かうこの期節、どうぞ聖書のみ言葉に聴き、黙想のうちに神様との対話の時を大切になさつ

聖職、聖職候補生のつぶやき

11月5日

もう一人には1タラントンを預けて旅に出かけた。(マタイ 25:17)

1タラントンは成人男性が一人で担げる限界の黄金 38 キロを表す単位で、一番少ない者にも主人は半人分ではなく一人分預けている。神は私たちそれぞれに相応しい賜物(個性)を託されて、その個性を十分に発揮することを求めておられる。 倉澤 一太郎司祭

11月6日

あなたは御自分の息を送って彼らを創造し地の面を新たにされる(詩編 104:30)

同じことが繰り返されると倦怠を感じる。すると人生に疲れ、憂鬱になり、感動と感嘆が消える。しかし、時間は神様のプレゼントである。常にすべてのことを新たにされる神のみ業に感動し、感謝できるように。 金大原(キム デウオン) 司祭

11月9日

天におられるわたしたちの父よ(マタイ 6:9)

いわゆる「主の祈り」は、「お父ちゃん!」と呼びかけることから始まる。もし天がどこか遠くにあるのなら、この呼びかけは届かない。この声が聞こえる距離に神はいて、そこに天の国はあるのだ。たとえ声にならずとも、お父ちゃんは聴いてくれている。 太田 信三司祭

11月11日

イスカリオテのユダ、このユダがイエスを引き渡したのである(マルコ 3:19・私訳)

ユダは裏切ったのではない、引き渡したのである。これはマルコにおいて詭弁ではない。死へと引き渡されるはずの、すべての人間の贖いのために、イエスを十字架へと引き渡したからです。

菅原 裕治司祭

[https://twitter.com/tko\\_column](https://twitter.com/tko_column)